

WBC Rules and Regulations
Version: VIII
February 1, 2007

WBC Rules and Regulations

ワールドバリスタチャンピオンシップ ルール規約

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

目次

1. 参加条件
 - 1.1. 参加者
 - 1.1.1. 国内資格
 - 1.1.2. 国籍
 - 1.1.3. 複数のパスポートを所有している場合
 - 1.1.4. 参加免除
 - 1.1.5. 費用
 - 1.2. 申込
 - 1.2.1. 競技者登録フォーム
 - 1.2.2. 最終期限
 - 1.2.3. 申込免除
 - 1.3. 国内団体の定義
 - 1.4. 申請
 - 1.4.1. 国内団体用ライセンス申請フォーム
 - 1.4.2. ライセンス条件
 - 1.5. 登録費用
 - 1.6. 解除
 - 1.6.1. 解除条件
 - 1.7. 義務
 - 1.7.1. 情報
 - 1.7.2. 国内バリスタチャンピオンシップ
 - 1.7.3. 国内チャンピオン
 - 1.8. 知的所有権
 - 1.8.1. 所有権および使用法
2. WBC 大会
 - 2.1. 競技 - 提供するドリンクについて

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

2.2. ドリンク定義

2.2.1. エスプレッソ

2.2.2. カプチーノ

2.2.3. シグニチャーピバレッジ

2.2.3.1. 得点表罰則

2.3. 競技時間

2.3.1. 開始

2.3.2. 終了

2.3.3. コミュニケーション

2.4. タイムオーバー罰則

2.5. コーチング

2.6. エスプレッソマシン

2.6.1. 失格理由

2.6.2. エスプレッソマシンの配置

2.7. プレゼンテーションテーブル

2.8. 故障修理

2.8.1. テクニカル

2.8.2. 付属品

2.8.3. 障害物

3. WBC 大会進行

3.1. WBC 提供の設備および供給品

3.1.1. 競技エリア概要

3.2. 準備時間

3.2.1. 定刻にいること

3.2.2. グライNDER

3.2.3. WBC 作業場アシスタント

3.2.4. 事前に温められたカップ

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

3.2.5. 準備終了時間

3.3. 競技時間

3.4. 清掃時間

4. WBC 認定審査員

4.1. WBC 審査員の資格

4.1.1. WBC 審査員

4.1.2. 適正な WBC 審査員とは

4.1.3. 利益相反

4.2. ヘッドジャッジ

4.3. テクニカルジャッジ

4.4. センサリージャッジ

4.5. 審査基準

4.5.1. 競技エリア

4.5.2. 味覚評価

4.5.3. ドリンクのプレゼンテーション

4.5.4. 技術力

4.5.5. 総合評価

4.6. 大会終了後

4.6.1. WBC 公式得点管理

4.6.2. 平等な得点

4.6.3. 報告会

5. 異議申立

5.1. 競技関連の問題について

5.1.1. 異議

5.1.2. 申立

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

5.2. 審査員または審査関連の問題について

5.2.1. 異議

5.2.2. 申立

5.3. 不正行為について

5.3.1. 異議 / 申立

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

1. 参加条件

1.1. 参加者

1.1.1. 国内資格

ワールドバリスタチャンピオンシップ(以下 WBC)は、WBC がライセンス供与した国内団体によって管轄されたWBC 認定国内大会によって決定され、資格を有した国内チャンピオンにのみ参加資格が与えられているものです。WBC は、WBC 認定国内団体を代表する各国から 1 名の競技者のみが参加できます。

1.1.2. 国籍

競技者は、各自が代表を務める国の有効なパスポートを保持しているか、もしくは代表国における 24 ヶ月間の就業証明もしくは就学証明を保有していなければなりません。

1.1.3. 複数のパスポートを所有している場合

複数のパスポートを所有している場合、競技者はいずれか一カ国を選択し、各国の認定された国内大会を通じて資格を得なければなりません。

1.1.4. 参加免除

もしなんらかの理由によって、国内チャンピオンが WBC に参加できない場合、国内大会の準優勝者がチャンピオンに取って代わることが可能です。この変更については、WBC による認可が必要です。WBC 認定国内団体から WBC イベントマネージャーあてに書面による申請が必須となります。

1.1.5. 費用

WBC は、いかなる競技者の費用も負いません。もし競技者がこれらの費用を賄うことができない場合、競技者は、彼もしくは彼女の認定国内団体もしくはその他の外部団体がこれらの費用を賄えるかどうかを確認する責任があります

1.2. 申込

1.2.1. 競技者登録フォーム

競技者は WBC のウェブサイト: www.worldbaristachampionship.com のオンライン上で WBC 競技者登録を行わなければなりません。また有効なパスポート、もしくは 24 ヶ月間の就業証明か就学証明の法的書類をコピーしたものを電子メールまたはファックスにて WBC イベントマネージャーに送信する必要があります。認可された全ての各国のチャンピオンはオンライン上の登録フォーム、有効なパスポートまたは法的書類が受理された後 2 週間以内に電子メールにて確認書類が競技者あてに送付されま

す。

1.2.2. 申込期限

競技者は WBC 開催 6 週間前までに登録フォームおよび有効なパスポートまたは法的書類を提出しなければなりません。

1.2.3. 申込免除

もし WBC 認定国内大会運営団体が、最終期限のときまでに国内大会を実行できない場合、当該の認定国内団体は WBC に参加する旨を書面にてイベント運営者あてに申請する必要があります。当該国が WBC に参加することにかんする申込遅延を受諾するか拒否するの最終決定は、イベント運営者の判断となります。

1.3. 国内団体の定義

各国の国内団体は、その存在が認められ、資格を有する国内バリスタ大会の運営および実行に対して共同で責任を持つ協会もしくは個人のグループとして定義されるものです。これらの団体は、各国のスペシャルティコーヒーコミュニティからの広範で横断的な代表者から構成されるものとする。

1.4. 申請

1.4.1. 国内団体用ライセンス申請フォーム

“国内団体用ライセンス申請フォーム”は、WBC のウェブサイト: www.worldbaristachampionship.com 上で入手できます。興味をお持ちの団体は、該当国のスペシャルティコーヒーコミュニティを代表するものでなければなりません。申請書は、窓口となるコーディネータに送付することとなっています。認定は WBC の理事会によって決定されます。

1.4.2. ライセンス条件

一国に認定される国内団体は一団体のみです。国内団体のライセンスは、解約されるまで永久に継続します。解約情報については項目 1.6 を参照してください。

1.5. 登録費用

国内団体申請にかかる登録費用は一切ありません。“大会認定フォーム”の出願に関する登録費用が 250 ドル必要です。これは、毎年同時に各国で出願されることになっています。大会認定フォームは、WBC のウェブサイト: www.worldbaristachampionship.com で入手が可能です。

1.6. 解約

WBC または国内団体のいずれかは、一方に対して書面による告知でいつでも国内団体ライセンス同

意書を解約することが可能です。

1.6.1. 解約条件

- A. 解約に伴い、当該国内団体は、WBC に関連する国内団体の称号に関する権利を失います
- B. 解約に伴い、当該国内団体は、国内バリスタ大会を調整する権利を失います。
- C. 解約に伴い、当該国内団体は、構内団体として収集した全ての情報を WBC に提出する義務があります。
- D. あらゆるスポンサー、契約、予約や責務などは WBC に進呈することとなります。

1.7. 義務

1.7.1. 情報

- A. 当該国内団体は、エミスフィアコーディネータもしくは WBC 事務局へ全ての正確な事務手続きを取る責任があります。
- B. 当該国内団体は、あらゆる最新の連絡先や国内バリスタ大会に関する情報を提供する中継役となる責任を負います。
- C. 当該国内団体は、ウェブサイト上の WBC により供給される全ての書類を収集する責任を負います。www.worldbaristachampionship.com

1.7.2. 国内バリスタチャンピオンシップ

- A. 国内団体は、“大会認定基準”および“WBC ルール規約”に従い、年 1 回国内バリスタ大会を開催する義務があります。これらの資料については、www.worldbaristachampionship.com にて入手可能です。
- B. 国内団体は、国内バリスタ大会の調整をすることができ、または他団体に国内バリスタ大会の準備をさせることもできます。
- C. 国内団体は、エミスフィアコーディネータもしくは WBC 事務局と国内バリスタ大会に関する必要な事務処理を全て出願する義務があります。
- D. 国内団体およびそのメンバーは、その他の大会において直接的、間接的を問わずいかなる方法においても関わるべきでないものとします。そしてそれは、WBC 組織に対して競合していることとなります。
- E. WBC は、国内バリスタ大会の調整において管理も所有権も持たないこととします。

1.7.3. 国内チャンピオン

- A. 国内団体は、国内チャンピオンの本人性を確認する責任を持つと共に、現在の情報を提供する責任があります。
- B. 国内団体は、WBC 参加のために国内チャンピオンに対して旅費および宿泊費を負担しなければ

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

なりません。

- C. 国内団体は、国内チャンピオンがそのチャンピオンの座にいる年の間、当該チャンピオンの活動について計画を立てることを期待されています。
- D. WBC は、各国内チャンピオンのスケジュールに関してなんらの管理も所有権も保持しません。

1.8. 知的所有権

WBC の知的所有権は、発明、特許、著作権、意匠権、トレードマーク、商標名、サービスマーク、データベース権、業務上の秘密、およびノウハウ（登録している、していないに関わらず）を指します。そして世界中のあらゆる場所における全ての申込も指します。

1.8.1. 所有権および使用法

- A. WBC は“World Barista Championship”名、およびロゴを含めて知的所有権を有しています。
- B. WBC は国内バリスタ大会の目的に対してのみ、国内団体にロゴの使用を認めます。
- C. 国内団体は、WBC ロゴまたは名称を変更することは許されていません。

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

2. WBC 大会

1名のヘッドジャッジ、4名のセンサリージャッジ(感応審査員)および2名のテクニカルジャッジ(技術審査員)が、各公認のWBC競技者を評価します。全審査員は、WBC認定得点表を使用します。

2.1. 競技 - 提供するドリンクについて

- A. 各競技者は、4名のセンサリージャッジ(感応審査員)それぞれに、1杯のシングルエスプレッソ、1杯のカプチーノ(シングルエスプレッソ)、1杯のシグナチャーピバレッジ、合計12杯を15分以内に競技者の好きな順番で提供します。
- B. 全てのドリンクは、エスプレッソをベースとし、アルコールを使用してはいけません。
- C. これらの12杯のドリンクを提供する順番は、競技者が決めることができます。
- D. 各カテゴリーの4杯のドリンクは、全く同じものであり、4杯同時に提供されなければなりません。
- E. 各カテゴリーの4杯のドリンクはすべえ、同じコーヒーを使って提供しなければなりません。
- F. 競技者は各カテゴリーのドリンク(例:エスプレッソ4杯、カプチーノ4杯、シグナチャーピバレッジ4杯)を用意する際、異なるコーヒーを使って提供することができます。
- G. 競技者は、大会中、好きなだけドリンクを作ることができますが、審査員に提供したドリンクのみ、審査対象となります。

2.2. ドリンク定義

2.2.1. エスプレッソ

- A. エスプレッソは、クレマを含めて**1オンス / 30ml**の液体とします。+/-5mlは許容範囲とします。
- B. 各シングルエスプレッソは、適正かつ一貫したコーヒーの粉量で作成されるものとします。
- C. エスプレッソは、**華氏 195度-205度 / 摂氏 90.5度-96度**の範囲で抽出されたものとします。(項目2.6WBCエスプレッソマシンも参照してください)
- D. マシンの抽出圧力は、**8.5-9.5気圧**になります。(項目2.6WBCエスプレッソマシンを参照してください)
- E. 抽出時間は**20秒-30秒**の間でなければなりません。
- F. エスプレッソは取っ手がついた、**2-3オンス / 60-90ml**のカップで提供しなければなりません。
- G. エスプレッソはすぐにジャッジに提供されるものとし、スプーン、ナプキン、砂糖、水も提供しなければなりません。

2.2.2. カプチーノ

- A. カプチーノは、シングルエスプレッソ、スチームドミルクとフォームドミルクの調和を作り出す比率が重要なドリンクです。
- B. 伝統的なカプチーノは、**5-6オンス / 150-180ml**の飲み物です。

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

- C. カプチーノは、取っ手のついた 5-6 オンス / 150-180ml のカップで提供してください
- D. 伝統的なトッピングであるスパイスや味のついたパウダーなどいずれも使用してはいけません。

2.2.3. シグニチャーピバレッジ

- A. シグニチャーピバレッジは、競技者によって競技時間中に創作されるエスプレッソベースのフリースタイル式のドリンクです。
- B. シグニチャーピバレッジには、エスプレッソと明確に区別できる味が存在しなければなりません
- C. アルコールは使用できません
- D. 審査員は、スプーンなどを使わずに、シグニチャーピバレッジを飲むことができなければなりません。
- E. ポータフィルターの中には、コーヒー粉以外のいかなる材料も入れてはいけません。

2.2.3.1. 得点表罰則

- i. もしシグニチャーピバレッジの材料にアルコールが使われていると発見された場合には、シグニチャーピバレッジカテゴリーにおけるセンサリー得点表上の全項目が「0点」となります。
- ii. ポータフィルター内にコーヒー粉以外の材料や物体が混入されていた場合には、競技者のシグニチャーピバレッジは、そのカテゴリー内の評価項目全てにおいて「0点」となります。

2.3. 競技時間

2.3.1. 開始

時間はバリスタが開始の合図をし、タイマーに接続しているリモートコントロールのボタンを押した瞬間からカウントされます。

2.3.2. 終了

競技者がタイマーに接続しているリモートコントローラーのストップボタンを押したときに終了となるか、もしくは自分の手をあげて“タイム”と述べた時に終了となります。ヘッドジャッジは競技者の総合時間を記録する責任があり、タイムキーパーと連携を取り、ヘッドジャッジの得点表上に記録する必要があります。

2.3.3. コミュニケーション

競技者は、競技時間が終了したら、審査員に話しかけ続けることは禁止されています。競技者は司会者と話し続けることはできません。

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

2.4. タイムオーバー罰則

- A. もし競技者が自身の競技を15分以内に終了できなかった場合でも、競技者は競技が終了するまで競技し続けることが許されています。
- B. 15分経過後のオーバータイムについては、毎秒1ポイントずつ減点されます。最大のペナルティは60ポイントで、この得点が集計された得点表の合計から減点されます。
- C. 競技が16分を超えた競技者は例外なく**失格**となります

2.5. コーチング

競技中、ステージ横からコーチングすることは認められていません。もしコーチングが行われた場合、「失格」になる可能性があります。WBC はサポーター、観客や他チームのメンバーがステージ横から応援することは大いに歓迎しますが、どのような形であれ、手助けしたりアドバイスしたりすることは認められていません。

2.6. エスプレッソマシン

WBC 提供のエスプレッソマシンは、あらかじめ固定の設定がされていますので、競技者によって変更することはできません。万が一 WBC のマシンに問題が起きた場合に備え、技術者が協議エリアに常駐しています。

2.6.1. 失格理由

もし競技者が以下の内容について変更したり、調整した場合、自動的に失格となります。

- A. ポータフィルター、フィルターバスケットおよび(もしくは)ガスケット
- B. 温度
- C. 圧力
- D. スチームワンドの先端/ノズル

ヘッドジャッジおよびテクニカルジャッジ(技術審査員)は、何も変更されていないことを確認します。

2.6.2. エスプレッソマシンの配置

WBC テクニカルスタンダード委員会は、WBC 提供のエスプレッソマシンおよびグラインダーの設定に対し、責任を負っています。WBC 開催1ヶ月前に、全競技者に対し、WBC で使用される装置の使用を詳細に記載したテクニカルシートが配布されます。

2.7. プレゼンテーションテーブル

全てのドリンクは、4名のセンサリージャッジ(感応審査員)が位置しているプレゼンテーションテーブル上に提供しなくてはなりません。審査員のいるプレゼンテーションテーブルは、競技者の準備時間中にセットアップすることができますが、準備時間中に、審査員のグラスに水を事前に注ぐことは許されません。各ドリンクが提供され、審査員によって評価が終了すると、WBC ボランティアがヘッドジャッ

ジの合図によって、プレゼンテーションテーブルを片付けることになっています。

2.8. 故障修理

2.8.1. テクニカル

- A. もし競技者がエスプレッソマシンやグラインダーまたはブレンダーなどに何か技術的な問題があると感じた場合には、競技者は手をあげ、ヘッドジャッジにテクニカルタイムアウトを要求してください。タイマーを止めます。
- B. もしヘッドジャッジが、技術的な問題があり、容易に解消できると判断した場合、ヘッドジャッジは、競技者にその分の適切な時間を決定し、与えます。
- C. もし技術的な問題がすぐに解決できない場合、ヘッドジャッジは競技者に競技再開を待たせるか待たせないか、競技を中止し、再度割りあてた時間で競技を再開するかどうかについて判断します。
- D. もし競技者が競技時間をとめなければならない場合、ヘッドジャッジと WBC イベントマネージャーと共に競技者は、遅い時間に再度競技時間を調整することとする
- E. もし技術的な問題が競技者のミスによるものと判断された場合、ヘッドジャッジは余剰タイムを競技者に対して与えないとの判断をする可能性があります。その場合、競技者は経過した分のタイムを保障されません。そのまま競技を再開します。

2.8.2. 付属品

- A. もし競技時間中、競技者がグラスやカップの破損やまたは、付属品や食材などを忘れた場合などの問題が発生した場合、タイムアウトは認められません。
- B. 競技者は、その場合、代替品を取ってくるように誰かに頼むかもしくは自分で行くかを判断する責任を負っているヘッドジャッジに申し入れなければなりません。その間、競技時間は経過していません。

2.8.3. 障害物

- A. もし、アシスタントや審査員、観客やカメラマンなどの個人が特定の競技者に対して、明らかに障害となった場合、前述の競技者には追加タイムが与えられるものとします。その場合、ヘッドジャッジはこの件について監理し、どれぐらいの追加タイムを与えるかを判断します。
- B. 審査員テーブルがその前の一連のドリンクが妥当な時間内に片付けられなかった場合、遅延した分のタイムを競技者は保障されるものとします。この件についての監理権はヘッドジャッジの責にあるものとします。

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

3. WBC 大会進行

- A. 競技スペースは1、2、3番と番号が付された競技ステーションとよばれるステージから構成されています。
- B. 各競技者は、ステーション番号と開始時刻が割り当てられます
- C. 各競技者は、設備類を競技エリアに運搬するための WBC アシスタントが 1 名割り当てられます。
- D. 各競技者は、割り当てられたエリア内で以下の内容を行うため、45 分の時間が与えられます。

- 1. 15 分の準備時間 : 評価対象となりません
- 2. 15 分の競技時間 : 評価対象となります
- 3. 15 分の清掃時間 : 評価対象となりません

さらに、全競技者に対し、競技開始時間前に書く 1 時間ずつ練習時間が与えられます。

競技の進行は以下の表の流れに従って行われます。

| マシン No1 | マシン No2 | マシン No3 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 番目のパリスト (マシン No1) | | |
| 準備時間(15分) | 2 番目のパリスト (マシン No2) | |
| 競技時間(15分) 審査員カリブレーション | 準備時間(15分) | 3 番目のパリスト (マシン No3) |
| 清掃時間(15分) | 競技時間(15分) 審査員カリブレーション | 準備時間(15分) |
| 4 番目のパリスト (マシン No1) | 清掃時間(15分) | 競技時間(15分) 審査員カリブレーション |
| 準備時間(15分) | 5 番目のパリスト (マシン No2) | 清掃時間(15分) |
| 競技時間(15分) 審査員カリブレーション | 準備時間(15分) | 6 番目のパリスト (マシン No3) |
| 清掃時間(15分) | 競技時間(15分) 審査員カリブレーション | 準備時間(15分) |
| | 清掃時間(15分) | 競技時間(15分) 審査員カリブレーション |
| | | 清掃時間(15分) |

3.1. WBC 提供の設備および供給品

各競技者の競技エリアには、以下のものが備えられます。

- A. 小型冷蔵庫
- B. ラマルゾッコ FB80 エスプレッソマシン(3 連のグループヘッドタイプ)
- C. Compak グライNDER K10 ConicWBC
- D. ブレンダー
- E. ノックボックス

WBC Rules and Regulations

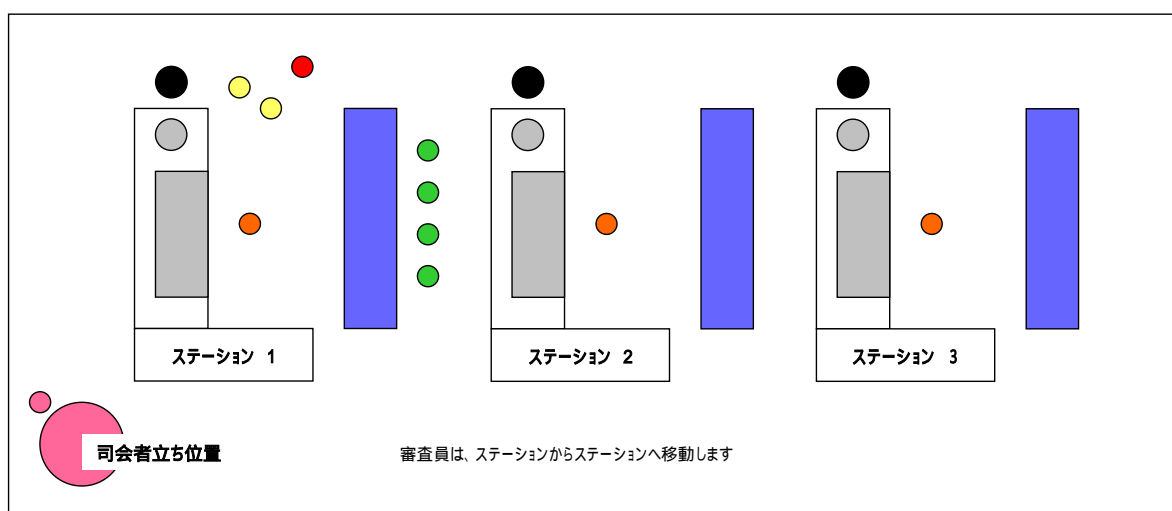
Version: VIII

February 1, 2007

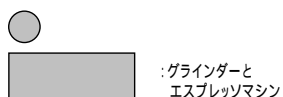
- F. 小型製氷機
- G. アイススクープ
- H. 牛乳 (Whole Milk)
- I. ゴミ箱
- J. カート(準備時間および清掃時間に使用するため)

次ページの図 - 競技エリアを参照してください

3.1.1. 競技エリア概要



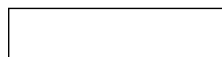
- :ヘッドジャッジ
- :競技者
- :テクニカルジャッジ
- :センサージャッジ
- :司会者



● :ゴミ箱



ステーションテーブル (Station Table):
長さ:1.80m 幅:0.90m 高さ:0.90m



作業テーブル (Working Table):
長さ:1.80m 幅:0.60m 高さ:0.90m



プレゼンテーションテーブル (Presentation Table):
長さ:1.80m 幅:0.60m 高さ:1.00m

3.2.1. 定刻集合

15 分の準備時間開始前の十分な時間に現地にいない競技者は失格となります (準備時間開始前、最低 30 分前には集合すること)

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

3.2.2. グライNDER

競技者は競技時間中、2台のグライNDERを使うことができます。WBC が提供するグライNDERと自分自身のグライNDER、もしくは自分自身のグライNDER 2台を使うことができます。競技者の準備時間が始まるまで、ホッパー内にコーヒー豆をいれることはできません。

3.2.3. WBC 作業場アシスタント

各 WBC ステーションアシスタントは、各競技者のグライNDER、ブレンダー、もしくはその他の電化製品を競技者の要望に応じてエスプレッソマシンの右側か左側に設置するかを確認します。

割り当てられたステーションアシスタントのみが、ステージ上で競技者がカートを運搬することを手伝うことが許されます。ステーションアシスタントは、カートから競技者が荷物を降ろしたり、ステーションのセットアップを手伝うことはしません。カートが競技時間中に舞台上にあることは認められていませんので、ステーションアシスタントが搬出します。

3.2.4. 事前に温められたカップ

全てのカップは、競技時間開始時に、空で清潔で乾いていなければなりません。

3.2.5. 準備終了時間

競技者は、準備時間の15分を越えることは認められません。15分の準備時間中に、タイムキーパーが競技者に10分、5分、3分、1分、30秒と時間を伝えます。15分きっかりに公式の準備時間タイムキーパーが“タイム”と宣言し、競技者にステーションから下がるように伝えます。

3.3. 競技時間

第2章の WBC 大会を参照してください。一旦、15分の準備時間が経過し、審査員達の用意が整ったら、司会者が英語でインタビューしてもよい競技者を紹介します。競技者は、専属通訳を同席させることができますし、またはインタビューを受けないことも選択することができます。

競技時間は、拳手とタイマーを止めるという最終の合図によって、終了します。これは、WBC タイムキーパーおよびヘッドジャッジが正確な総合時間を確認するためです。

3.4. 清掃時間

競技者は競技時間後、自分の使ったステーションを徹底的にきれいにします。割り当てられた WBC アシスタントが清掃時間後にステーションをチェックし、清潔度に関する許可を与えます。この許可が与えられた後、競技者はステーションを去ることができます。これは評価に入りません。もし満足のいく仕上がりがでない場合、競技者は指示されたエリアを清掃するように伝えられます。

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

4. WBC 認定審査員

WBC ルール規約委員会は、全 WBC 認定審査員が順守する規準を定めています。競技者は、その規準に関して熟知するために、徹底的にスコアシート、審査員ガイドや行動規範を徹底的に確認することを推奨します。

全ての WBC に関する資料は、ウェブサイトよりダウンロード可能です。

www.worldbaristachampionship.com

4.1. WBC 審査員の資格

4.1.1. WBC 審査員

- A. 経験をもち、WBC が許可し認定した審査員のみが、ワールドバリスタチャンピオンシップで審査することが許されます。
- B. 審査認定委員会 (JCC) は、WBC 審査員の認定に責任を負います。
- C. JCC は、来る WBC における適正な審査員の選出に対し、責任を負います。
- D. 審査員お選出は、WBC に咲き出し最低 3 ヶ月前に JCC によって広報されます。選出された審査員は www.worldbaristachampionship.com にて発表されます。

4.1.2. 適正な WBC 審査員とは

- A. WBC 決勝戦に選ばれるためには、WBC 認定国内団体による“推薦状”を JCC あてに WBC 開催前最低 6 ヶ月前に送付しなければなりません。
- B. 推薦するか否かを考慮する前に、以下の経験が必要とされます。
 - 1. WBC 認可のバリスタ大会で最低 2 年の審査員経験があること
 - 2. WBC 開催前に WBC 認可国内バリスタ大会の最低 2 大会で審査員の経験があること
 - 3. 国内 WBC 認可審査員トレーニングプログラムに合格していること

4.1.3. 利益相反

もし審査員が、競技者に対して偏見を持っているとみなされたり、一人もしくは数名の競技者と利益相反の関係を持っているとみなされた場合、その当該 WBC 審査員は、審査から除外される場合があります。

本項目に関しての詳しい内容は、WBC 審査員行動規範 / 利益相反を参照してください。ウェブサイトからダウンロード可能です。 www.worldbaristachampionship.com

4.2. ヘッドジャッジ

WBC では、競技時間中常に、監視する役割の認定されたヘッドジャッジが 1 名存在します。ヘッドジャッジは、ルール規約委員会 (RRC) や審査認定委員会 (JCC) と緊密に連携しています。各委員会は、WBC 大会中、1 名の代表が存在していることが求められています。

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

- A. ヘッドジャッジは、大会の主監督です。
- B. ヘッドジャッジは、審査員達がプロフェッショナルな立場で、WBC 基準およびトレーニングガイドラインに沿って競技者を評価するようにさせる責任を負います。
- C. ヘッドジャッジは、審査員達が明りょうかつ正確にスコアシートを全て記入させる必要があります。
- D. ヘッドジャッジは、競技エリアにいるタイムキーパーとアシスタントに対しての責任を負いません。
- E. ヘッドジャッジは、バリスタが適切な作業スペースを取れるようにしなければなりません
- F. ヘッドジャッジは、プレス関係のカメラマンやカメラクルー、観客、ボランティアやその他審査員などを含め、競技者の競技中、妨げとなるものがないようにする責任を負います。
- G. ヘッドジャッジは、ヘッドジャッジのスコアシートを用い、競技者と審査員の両方を評価します。この得点表上の得点は、全体の総合得点に加算されません。
- H. ヘッドジャッジは、より評価を行うために、競技者のドリンクを共有するための感応審査員を1名任命します。
- I. ヘッドジャッジは、感応審査員が自身の評価を終えた後にのみ、該当のドリンクを味見することができます。
- J. ヘッドジャッジは、審査員の評価時間中におけるきわどい点に関する最終の決定権をもちます。

4.3. テクニカルジャッジ

WBC では、2名のテクニカルジャッジ(技術審査員)が、各競技者ごとにおり、競技者の作業しているエアリ付近に位置します。2名のテクニカルジャッジの総合計が共に加算され、当分され平均が算出されます。この合計得点は、4名のセンサリージャッジ(感応審査員)の得点表に加点されます。

4.4. センサリージャッジ

2名のテクニカルジャッジに加えて、4名のセンサリージャッジが競技者を評価します。4名のセンサリージャッジは、プレゼンテーションテーブルの後ろに控えています。各センサリージャッジは、自分自身の前に提供されたドリンクのみ評価し、得点をつけます。

4.5. 審査基準

審査基準は、WBC 公式得点表に基づいており、それらは WBC のウェブサイトからダウンロード可能です。 www.worldbaristachampionship.com

4.5.1. 競技エリア

競技エリアは、2名のテクニカルジャッジによって、競技開始時および終了時にその清潔さを評価され

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

ます。

4.5.2. 味覚評価

感応面の得点表上に支持された全基準に基づき、それぞれ個々のドリンクに対して、センサージャッジによって得点が与えられます。

4.5.3. ドリンクのプレゼンテーション

ドリンクのプレゼンテーションについては、カップ、グラスや付属品を含む視覚的なプレゼンテーションやドリンクの一貫性、創造性およびプレゼンテーションの仕方などに基づき、得点が付与されます。

4.5.4. 技術力

エスプレッソマシンおよびグラインダーの扱いにおける競技者の技術的知識およびスキルに基づき、得点が与えられます。

4.5.5. 審査員総合評価

この項目については、競技者の技術的スキル、ドリンクの味および人間性とドリンクのプレゼンテーションに対する包括的な審査員の印象に基づき、得点が与えられます。

4.6. 大会終了後

4.6.1. WBC 公式得点管理

任命された WBC の公式のスコアキーパー (得点管理者) が、公式の発表があるまで、全得点の秘匿に関する責任を持っています。

4.6.2. 等しい得点

2 名もしくは数名の間で、得点が同一となった場合は、以下を適用します：

該当する全ての競技者の得点表を確認し、6 人中、5 人中、4 人中のうち個々の得点を決定します。6 人中、5 人中、4 人中などといった、その人数のうちで最も高い得点の競技者は他の競技者に勝ったこととなります。

4.6.3. 総評会 (Debriefing)

A. 全審査員は出席し、決勝進出者が発表された後、非決勝進出者それぞれに総評を与えることとなっています。これは非決勝進出者の競技者が希望した場合になります。そして全審査員にとっ

WBC Rules and Regulations

Version: VIII

February 1, 2007

て、必須です。これは、決勝戦の前日に行われます。

- B. WBC JCC は、イベントマネージャーと共に、本総評会のスケジュールを組む責任を負います。
- C. 6名のWBC 決勝進出者は、決勝終了後まで本総評会を受けることはできません。

5. 異議申立

全ての不服および異議については、適切な委員会(例えば、ルール規約委員会、審査認定委員会、テクニカルスタンダード委員会またはイベントマネージャーあてなど)をあて先とした書面によるものでなければなりません。また、不服異議については、以下の内容が含まれていなければなりません：

- A. 不服申し立ては誰からのものであるのか、フルネームと国籍を記載すること
- B. 不服に関して明瞭かつ簡潔に記載すること
- C. 日付および時刻
- D. 申立人の見解および要望する解決策
- E. 全関係者
- F. 再確認

たとえ書面による異議申し立てであったとしても、上記の項目が最低限記載されていない限り、検討の対象となりません。全ての異議申立および、もしくは免除に関してその問題発生の 24 時間以内に、WBC 委員会のうちのいずれかまたは WBC イベントマネージャーあてに転送されなければなりません。

5.1. 競技関連の問題について

5.1.1. 異議

競技中および/もしくは競技後に異議が発生した場合、異議については書面によることとし(上記参照)、現地および、または電子メールにて WBC イベントマネージャーに送らなければなりません。異議の内容に基づき、WBC イベントマネージャーは、関連団体を出頭させる義務を持ち、関連する全団体が意見を述べられるようにしなければなりません。

その異議が属するとされる関連の WBC 委員会から 1 名の代表者が査問に出席しなければなりません。ルール規約委員会の委員長または代表者が最終決定もしくはルールをくださいます。イベントマネージャーは妥当な期間内に書面によって異議に対して WBC に代わって回答します。

5.1.2. 申立

もし申立人がそのときに下された決定に不服の場合、申立人は、書面をもって、WBC 理事会に訴えることができます WC 理事会の決定が最終決定となります。

5.2. 審査員または審査関連の問題について

5.2.1. 異議

もし審査員に対して異議がある場合、もしくは競技者が審査員によって与えられた結果に対して反対がある場合、書面によって、現地で JCC の代表および / またはヘッドジャッジに対し提出しなければなりません。ルール規約の委員長または代表者は常に現地にいななければなりません。

5.2.2. 申立

もし申立人が、審査認定委員会によってくだされた決定に不満がある場合、WBC 理事会に申立を行うことができます。WBC 理事会の決定は最終となります。

5.3. 不正行為について

もし、ヘッドジャッジまたはその他の WBC 関係者が競技者の評価中に不正行為とみなされかねない行為を発見した場合、もしくは疑われるといった望ましくない状況が生じた場合、以下が適用されます：

- A. ヘッドジャッジは、疑わしい評価に関して高至近おスコアキーパーから全競技者の得点表の回収を要求するものとします。
- B. ヘッドジャッジは、JCC および RRC の代表に加えて関連の WBC 審査員とともにミーティングを召集し、状況を検討します。
- C. JCC および RRC の委員長または代表者は非公開の会議で当該案件について裁定します。
- D. もし不正行為が広範囲に及んだ場合、JCC および RRC は該当する WBC 審査員を将来のあらゆる WBC 認定大会の審査から除外する裁定を下す権限を持っています

5.3.1. 異議 / 申立

問題の WBC 審査員は、書面によって WBC 理事会に申し立てることができます。WBC 理事会の決定が最終決定となります。